

各位

会社名 株式会社エコノス
 代表者名 代表取締役社長 長谷川 勝也
 (コード番号:3136 札証アンビシヤス)
 問合せ先 取締役副社長 新行内 宏之
 (TEL: 011-875-1996)

業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2019年11月1日に公表いたしました業績予想を下記のとおり修正するとともに、2020年3月期において、特別損失を計上する見込みとなりましたので併せてお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

2020年3月期通期連結業績予想数値の修正（2019年4月1日～2020年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	3,900	5	△44	△78	△89.67
今回修正予想 (B)	3,976	△42	△99	△151	△172.66
増減額 (B-A)	76	△47	△55	△72	
増減率 (%)	2.0	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2019年3月期)	3,870	120	72	9	11.02

修正の理由

2020年3月期の通期連結業績予想につきましては、リユース事業においてリユース商品の買取が想定よりも好調に推移する一方で、2019年10月の消費税増税後の国内消費の落ち込みや新型コロナウイルスの感染拡大に伴う消費者の外出自粛等の影響により売上が落ち込んだことに加え、粗利率が低下し、パート・アルバイト従業員の人件費増加や店舗の新規出店及びリプレイスに伴う開店費用が発生したことにより販売費及び一般管理費が大きく増加した結果、営業利益が赤字に転じることとなり、経常利益及び親会社に帰属する当期純利益につきましても、赤字幅が広がる結果となりましたので、前回公表したのから上記のとおり修正いたします。

2. 特別損失の計上

リユース事業において、一部店舗の将来における投資回収可能性を検討した結果、減損処理を行うことが妥当であると判断したことにより固定資産を中心とする減損損失15百万円、店舗の退店に伴う賃貸借契約解約損4百万円、子会社における排出権価格上昇による受注契約解約損9百万円、投資有価証券評価損1百万円、合計31百万円の特別損失を計上する見込みであります。

※上記の予想数値につきましては、発表日現在における入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は、今後の様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以上